

平成18年9月11日

会社名；株式会社 中山製鋼所
(URL <http://www.nakayama-steel.co.jp/>)
代表者名；代表取締役社長 藤井 博務
コード番号；5408 (東証、大証 各1部)
問合せ先；経理部長 松岡 雅啓
(TEL (06) 6555 - 3035)

平成19年3月期の業績予想の修正及び中間配当に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年5月9日に公表しました平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の中間期及び通期の決算の見通しにつきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

[1] 平成19年3月期 中間業績予想の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(単位：億円)

	連結決算			単独決算		
	売上高	経常利益	当期純利益	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	940	25	15	640	15	10
今回修正予想 (B)	960	30	13	640	10	6
増減額 (B - A)	20	5	2	0	5	4
増減率 (%)	(2.1)	(20.0)	(13.3)	(0.0)	(33.3)	(40.0)
<ご参考> 前期実績 (平成18年3月期中間)	964	92	64	654	70	55

[2] 平成19年3月期 通期業績予想の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：億円)

	連結決算			単独決算		
	売上高	経常利益	当期純利益	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,900	65	45	1,300	45	35
今回修正予想 (B)	1,940	65	35	1,300	30	25
増減額 (B - A)	40	0	10	0	15	10
増減率 (%)	(2.1)	(0.0)	(22.2)	(0.0)	(33.3)	(28.6)
<ご参考> 前期実績 (平成18年3月期)	1,897	135	82	1,288	92	63

[3] 修正の理由

当中間期の売上高は、単独、連結ともにほぼ予想通りになる見込みです。また、損益につきましては、単独ベースでは、主にスクラップなど原材料価格の上昇が起因し、前回予想を下回る見込みであります。連結損益では、鋼材二次加工製品の販売価格が予想よりも高位に安定しました結果、前回予想を上回る見込みであります。

[4] 中間配当について

1株あたり中間配当金については、当初の計画どおり3円（年間6円）を予定しております。

上記の見通しは本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上